

## 凡 例

### 1 項目

神奈川県立図書館が所蔵している大山関係図書資料から、45点（正統編を含む）、絵図・地図・浮世絵から23点を選定した。

ビデオ・CDなどの視聴覚資料や写真、絵葉書は原則として対象に含めていない。

### 2 構成

本編は、資料の形態により資料と地図・絵図・浮世絵に分け、資料を「1 地誌・案内記」「2 歴史」「3 思想・宗教」「4 民俗」「5 文芸・紀行」の5章に分け、地図・絵図・浮世絵を第6章にまとめた。各章内は、原則として 資料の請求記号順に配列した。

<記載した項目>

#### ①資料名

原則として当館での登録名を記載した。

#### ②作者名

資料の著述や編纂に当たった個人または組織・団体を「作者」と総称した。作者が特定の個人の場合には、生没年を（ ）内に補記した。

#### ③刊行年

刊行年が明らかでない資料については、限定できる範囲内での記述とした。

#### ④解題

資料の内容、作者を中心に記述した。必要に応じ、資料本文の構成、当館所蔵本についても記載した。

#### ⑤参考文献

当該資料を知るための主な参考文献を、おおむね刊行年順（発表年順）に列記した。

### 3 書誌事項について

書誌事項として、書名、著编者名、出版者、出版年、当館請求記号を記載した。

図書の一部あるいは一論文の場合には、著者名、論文名（章名）の後に、それを収録する図書または雑誌の書誌事項を（ ）内に記載した。なお、当館請求記号は〔 〕内に記載した。

### 4 その他

- ・漢字は、固有名詞、資料名などの一部を除き、原則として新字体を用いた。そのため、当館の所蔵データの字体と一致しない場合もある。
- ・年の表記は原則として和暦を用い、必要に応じてそれに対応する西暦を補った。ただし国外での出版、出来事に関してはこの限りでない。
- ・本文中の資料所蔵者名や研究者名は、原則として敬称を略して記載した。
- ・江戸期に発行された資料のうち3点は、平成28年当館発行の『江戸を読む―神奈川県立図書館所蔵江戸期刊行資料より一』から転載した。

- ・ 第6章 地図・絵図・浮世絵のうち、当館HPデジタルアーカイブに掲載されているものは ◇デジタル と称してその旨示した(2019年1月現在:当館所蔵の資料のみ)。

### <執筆時の参考資料>

執筆に際して、各項の参考文献以外に以下のような資料を参照した。

- ・『国史大辞典』吉川弘文館
- ・『日本史文献解題辞典』吉川弘文館
- ・『世界大百科事典 改訂新版』平凡社
- ・『日本大百科全書』小学館
- ・『大漢和辞典』大修館書店
- ・『日本古典文学大辞典』岩波書店
- ・『講談社日本人名大辞典』講談社
- ・『新潮日本人名事典』新潮社
- ・『朝日日本歴史人物事典』朝日新聞社
- ・『20世紀日本人名事典 あ～せ』日外アソシエーツ
- ・『神奈川人物風土記』佃實夫編 昭和書院
- ・『学校創立者人名事典』日外アソシエーツ
- ・『世界美術大辞典』河出書房
- ・『原色浮世絵大百科事典』大修館書店
- ・『浮世絵大事典』東京堂出版
- ・『講座日本美術史』東京大学出版会
- ・『秦野市史』秦野市
- ・『大山史年表』内海弁次著 大山寺
- ・『日本史研究者辞典』日本歴史学会編 吉川弘文館
- ・『琉球大観』石野瑛著 武相学園
- ・『霊山と日本人』宮家準著 日本放送出版協会
- ・『山岳信仰』鈴木正崇著 中央公論新社
- ・川崎吉蔵「おちこちの人 (47) 根本行道」(『山と溪谷』379 山と溪谷社 1970)
- ・『川柳の群像:明治・大正・昭和の川柳作家一〇〇人』東野大八著 集英社
- ・『わが住む里:有賀密夫 遺稿集』有賀密夫著 有賀郁子
- ・『狂言ハンドブック 改訂版』油谷光雄編 三省堂
- ・『丹沢の行者道を歩く』城川隆生著 白山書房
- ・<http://musicstown2000.sub.jp/history/profile.htm> 万象房 城川隆生(kigawa takao) プロフィール